

平成 30 年度 第 2 回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：平成 30 年 11 月 29 日(木) 午後 4 時 00 分～5 時 00 分

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：千坂経悦、望月 武、清水重男 委員

長瀬教育長 桑原文化振興部長、事務局 4 名

進 行：佐藤市民学習支援課長

1 開 会

2 あいさつ

(会 長) 皆さんこんにちは。

私事ですが今年の夏前に、青森のほうへ行く機会がありまして津軽のほうへ回ってきました。そこで感じたことは津軽の十三湖の小さい広場がありましてそれについて、十三湖の役割が縄文から始まって展示してありました。質素な広場ですが、展示がおもしろくて説明の仕方がよかった。縄文時代から古代までかけての歴史的背景がわかった感じがします。

我々ふるさと館も展示場は大きくはないですが、この地域にとってまた訪れた人にとって重要なところではないかと感じます。先程企画展を見させていただきましたが、今新幹線の中でフリーペーパー（トランベール）という小さい雑誌がありますが、その中に最近 2 カ月ぐらい続けて幕末から明治にかけての戦争の事が詳しく載ってまして、非常に興味深く読む機会がございました。ふるさと館も展示場は小さいけれど重要な役割もっているのではないかと感じております。その意味でスタッフの皆さんご苦労がみえる感じがします。ご苦労さまです。

(教育長) 委員の皆さまそれぞれにお忙し中ありがとうございます。

ふるさと館も企画展、寺巡り、館独自に友の会を結成したりいろいろやっておりますが、ようやく軌道に乗りつつあると思いますが、まだまだ十分でない部分があるわけですが、これからも地味ではありますが着実に地域の資料を掘り起こしながらやって行かなくてはいけないと思っております。今日はよろしくお願いします。

3 協議（進行：会長）

(1) 平成 30 年度事業中間報告について

(事務局) 資料に基づき説明

(会 長) 質問・ご意見等ありましたらお願いします。

(会 長) 城南中の未来塾とはなんですか。

(事務局) 地域のコミュニティースクールの関係で、学校の中だけでなく地域での様々な分野での学習活動を進めるという事で、地域の達人の皆さんに絵手紙・盆栽教室など 20 種ぐらいの教室を行こうという活動です。
その中のひとつとしてふるさと館をご利用いただいております。

(会 長) 4 回ぐらい来ていますが、それぞれ違う生徒ですか。

(事務局) 1 年生～3 年生約 20 人同じ生徒が来ております。

(教育長) 県外からの学校が減ったでしょう？

(事務局) 以前はふるさと館、美術館等見てから、仏壇通りで仏壇製造のようすを見学するという事で秋の遠足で来ていたと思います。今は仏壇の工場が見れる場所が少なくなってきたというのが減少のひとつだと思います。

(会 長) 民宿関係でセカンドスクールは昨年と比較して落ちているのですか。

(事務局) セカンドスクールはほぼ同じ人数です。この表には載っていないのですが、その他としては団体で他の博物館の友の会の皆さんの見学や、退職された教職員、老人会での来館などがありました。

(会 長) 研修等の「飯水地区新任教職員研修視察」は小・中学校ですか。

(事務局) 新採用の先生が、この地域を知っていただくことを目的にしたものです。

(会 長) 新採用だけでなく、この地区に初めて来た先生にも是非この地域の事を知っていただければと思います。是非そういうところを校長会で働きかけてもらえばいいのかなとも思います。

(会 長) よろしいですか。多岐にわたっていろいろなパーツがそろっていますが、その中で友の会の活動が重要な会だと思いますが、裾野を広げていくという意味で友の会の活動は大きいかなと感じはします。

この資料の活動の中にあります、木島平村、中野市との連携の中で地域全体を俯瞰できるような、共同の企画展など設けられると歴史的・地理的なところも理解されるのではないかと思います。栄村、野沢温泉村、木島平村それぞれに単独で行っていると思いますが、一期間だけでもこの時代のところを輪切りにした視点で何かをやってみるなど、幅の広い活動ができると思います。

(委 員) 友の会では最近ここ 2 ヶ年ぐらい栄村、野沢温泉、木島平、中野と近隣へ研修視察行ってますが、交流が深まりうまく連携できるイベントみたいのがあれば面白いかなと思います。

(会 長) これからも大いに期待できると思います。

(会 長) 何かご意見ありましたらお願いします。

(事務局) 平成 31 年度事業計画説明

(会 長) ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

(教育長) 「飯山の祭り」と「善光寺地震」の企画展の開催時期を入れ替えたほうがいいのではないかな。

柱松をやっている時に飯山の祭りの企画展をしたほうがアピール性が違うと思う。

(教育長) 入替はどうか。

(事務局) 市内の秋祭りを取り上げるために、秋に予定したものです。

小菅のお祭りは終わった後に今年のようなすを写真等で展示していければと考えています。

(教育長) 江戸から明治にかけて彫刻家が沢山でている作品を、美術館とタイアップで一度「飯山の仏師たち」のタイトルでもいいので仏壇と関係づけてやれば面白いと思うし、どこかでやりたい。

(会 長) 企画が盛りだくさんで大変だろうと思いますが、市民学芸員の方に助けていただいているのですか。

(事務局) はい。市民学芸員の登録数は20名程おりますが、実際にこちらに来ていただける方は5名前後です。今年も2階の機織りの縦糸の張り替えをしていただくなど助けていただいております。

(委 員) 学校関係の事でお願いします。飯山教育委員会で3、4年生用の社会科資料集で「私たちの郷土」副教材があるわけですが、この度学習指導要綱が改訂になりますので、刷新しようと編集、編纂を今からとりかかろうとしているところです。私はふるさと教育の推進委員会のとりまとめ役をおおせつかっており、これから各校から委員を集めて編集作業にとりかかれます。その上で3、4年生の教材という事でできたらこのふるさと館とコラボできるような中身にしていくと、資料集を使いながら実際に行ってみようかなと、そういう使い方ができるのではないかとそんな内容にしていけたらと提案していきたいと思います。

3、4年生の教材ではありますが、5、6年生でも使えるように「丸山邦雄氏」の活躍を盛り込むなど、長い間使えるようにしたいと考えております。

是非ふるさと館には資料提供ですとか、アドバイスなどしていただきたくご協力をお願いしたいと思います。

(教育長) 宮澤学芸員を編纂のメンバーにいらしていただければ、話が繋がっていいと思う。

(委 員) 32年度から新学習資料が完全実施になりますので、それに合わせての発刊になりますので来年度31年度一年間かけて編集作業を行って行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

学芸員さんのご協力大変ありがたいと思います。ありがとうございました。

4 その他

(事務局) 特になし

5 閉 会

(課 長) それでは、これで第2回ふるさと館運営協議会を閉じさせていただきます。
ありがとうございました。